

図書紹介

Plantation Technology in Tropical Forest Science (熱帯森林科学における植林技術), Suzuki, K., Ishii, K., Sakurai, S., and Sasaki, S. (Eds.), 292 p., Springer, Tokyo, 2005, 169US\$, ISBN-10 4-431-28053-7

本書は、1992年にはじまった国際共同プロジェクト「Biotechnology-Assisted Re/Afforestation Project in the Asia-Pacific Region, BIO-REFOR (アジア太平洋地域における新規・再植林のための生物技術, バイオリフォル)」の記録を目的に発行された。バイオリフォルは、国際ワークショップの開催と発表論文集の発行を通じてアジア太平洋地域の森林を再生させるための基礎となる研究情報の交換、研究者のネットワーク構築に貢献してきた。同書には、12回におよぶ国際ワークショップで発表された報文から26本が選択され、概論、熱帯樹木の栄養繁殖技術、フタバガキ林における共生菌根の利用、アジア太平洋地域の人工林と生物多様性、の4つのパート別にまとめられている。残念なことに、バイオリフォルの経緯や各報文の位置づけについては、ほとんど触れていない。そのためバイオリフォルのことを知らない人でなければ、本書の意義を理解するのは難しいように感じられる。また技術報告であるがゆえに、それぞれの報文が発表されたころの背景が見えにくいものもある。挿し木法によるフタバガキ樹木の苗木生産や、外生菌根の簡易接種法、現在は当然のように使われている技術も、10年前はまだ試験段階にあったことや、熱帯林の再生が生物技術だけでなく住民参加や地域の生物多様性保全等、学際的な知見を必要とするようになったこと等を、読者に知らしめる工夫が欲しかった。幸いなことに、下記に示すようにバイオリフォル・ワークショップのほとんどが、本誌に記録として紹介されてきた。また、本誌には同書に収録された報文に関連深い記事が少ない。本誌のバックナンバーをご覧ください。 (藤間 剛)

BioRefor ワークショップに関連する記事

横田明彦 (1992) IUFRO-SPDC プレワークショップ「フタバガキ科樹種の菌根菌と増殖」に参加して熱帯林業. 23 : 37-38. 小林富士雄・鈴木和夫・森 徳典. (1992) Bio-Refor 国際集会「熱帯林の再生を目指して」報告. 熱帯林業 25 : 60-71. 鈴木和夫, 石井克明, 櫻井尚武 (1994) バイオリフォル・ジョクジャカルタ・ワークショップーアジア太平洋地域における熱帯林再生一. 熱帯林業 29 : 55-62. 鈴木和夫・則定真利子・石井克明・櫻井尚武 (1995) バイオリフォル・マレーシア・ワークショップー熱帯林再生

とバイオテクノロジー— 熱帯林業 33 : 53-59. 櫻井尚武・則定真利子・石井克明・鈴木和夫 (1995). 第 20 回 IUFRO 大会—注目を集めた熱帯地域の問題と熱帯研究グループの活躍. 熱帯林業 35 : 60-69. 石井克明・田中 浩・櫻井尚武・鈴木和夫 (1999) Fortrop '96 国際会議—21 世紀の熱帯林— 熱帯林業 39 : 32-40. 石井克明, 鈴木和夫 (1999) バイオリフォル・ブリスベンワークショップ—熱帯林修復達成にむけて—の概要. 熱帯林業 45 : 64-70. 鈴木和夫, 石井克明 (2000) バイオリフォル・カトマンズワークショップ—バイオテクノロジーと生物多様性— 熱帯林業 48 : 47-52. 益盛眞也, 石井克明, 鈴木和夫 (2001) 第 9 回バイオリフィル国際ワークショップ (クアラルンプール). 熱帯林業 51 : 70-73. 益守眞也, 石井克明, 鈴木和夫 (2003) 第 10 回バイオリフィル国際ワークショップ (東京大会). 熱帯林業 56 : 79-82. 石井克明, 齋藤陽子, 櫻井尚武, 益守眞也, 鈴木和夫 (2003) バイオリフィル・ソウルワークショップ—持続可能な森林生態系の回復— 熱帯林業 57 : 60-65. 益守眞也, 中静 透, 鈴木和夫 (2004) 第 12 回バイオリフォル・ジョグジャカルタ集会. 熱帯林業 61 : 69-72.

Part II さし木技術・組織培養

内村洋一. (1995) マレーシア・サラワク州におけるアラン (*Shorea albid*a) 挿し木試験 熱帯林業 32 : 33-43. 坂井睦哉・山本義実. (1995) フタバガキ科樹種の栄養繁殖. 熱帯林業 33 : 23-29. 平沢俊正・山手廣太. (1995) フタバガキ科樹種のさし木発根性. 熱帯林業 33 : 48-52. 中村健太郎・木村信司. (1996) フタバガキ科の栄養繁殖技術. 熱帯林業 36 : 37-46.

Part III 外生菌根の利用

小川 真. (1991) ラワンときのこー菌根菌. 熱帯林業 22 : 29-38. 小川 真. (1992) 熱帯樹木の生長と炭. 熱帯林業 24 : 47-56. 森 茂太. (1993) 東カリマンタンのフタバガキ科の挿し木, 山引き, 実生苗とマイコライザ. 熱帯林業 28 : 19-25. 菊地淳一・小川 真. (1997) 共生微生物を利用したフタバガキの育苗. 熱帯林業 38 : 36-48.

Part IV アジア太平洋地域の人工林と生物多様性

小林紀之・曾田 良・佐々木恵彦 (1993) 熱帯林の再生について —熱帯林再生実験林プロジェクト—. 熱帯林業 28 : 26-36. 平沢俊正. (1996) フタバガキ科樹木等の郷土樹種における効率的な育苗方法. 熱帯林業 35 : 39-51. 加藤 剛. (1997) 択伐後の低地フタバガキ林における大面積調査研究とその背景. 熱帯林業 38 : 16-24. 曾田 良. (1997) スブルでの熱帯林回復の試み. 熱帯林業 40 : 26-34. 沖森泰行・泉谷 進. (2003) インドネシア低地フタバガキ林の修復・再生研究. 熱帯林業 56 : 22-31. 北岡 顕. (2003) サラワク泥炭湿地における森林造成技術. 熱帯林業 57 : 42-51.